

道徳科における情報モラルに関する指導の充実

— 児童の発達の段階に合わせた「情報モラル指導資料集」の作成と活用を通して —

研究構想図

長期研修員 金井 康朗

道徳科における情報モラルに関する指導の充実

1単位時間での活用

児童の実態や行事などに合わせて指導時期を自由に設定し、1単位時間の授業を行います。



教科書の教材と組み合わせた「ユニット」での活用

教科書の教材と組み合わせて「ユニット」を組むと、更に重点的な指導が行えます。



+



道徳科の「情報モラル指導資料集」



読み物教材は、児童の身近で起こりやすいインターネット上のトラブル等を発達の段階に合わせて、内容に盛り込みました。



読み物教材（自作）

+

展開例

+

ワークシート

学年	読み物教材の『教材名』（内容項目）【主題名】	あらすじ
6年生	『町のキャラクター』（規則の尊重） 【権利を尊重するとは】	キャラクターを応募したいけれど、イラストが苦手な主人公。インターネット上のイラストを無断で使用してしまう。
5年生	『動画の投稿』（自由と責任） 【責任ある行動】	高評価が欲しくて友達と撮ったダンスの動画を投稿サイトにあげた主人公。削除したはずの動画が拡散してしまう。
4年生	『メールの返信』（相互理解、寛容） 【相手のことを考えて】	宿題のことを聞きたくて友達にメールをした主人公。いつまで経っても返事が来ないことに腹を立て、友達を責めてしまう。
3年生	『オンラインゲーム』（節度、節制） 【よく考えて行動するには】	オンラインゲームの中のアイテムがどうしても買いたい主人公。お家の人にだまって購入してしまう。
2年生	『新聞づくり』（善悪の判断） 【正しいと思うことを】	新聞係の主人公。友達の新しい家の場所をみんなが見る新聞に載せてよいのか悩んでしまう。
1年生	『とらくんのタブレット』（正直、誠実） 【しょうじきなところで】	タブレットを誤って壊してしまった主人公。だれにも見られなかったのですが、だまっていたけれど、心が晴れない。

◆教育の情報化に関する手引き「情報活用能力の体系表例」（文部科学省 令和元年）

◆青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府 令和3年）

教師の悩み

- ・道徳科の授業で情報モラルについての扱い方が難しい。
- ・児童が身近に感じられる情報モラルに関わる教材が欲しい。

児童の実態

- ・情報機器の利用が低年齢化している。
- ・インターネットに起因するトラブルが増加している。

国、県の課題

- ・児童の発達の段階や特性等を考慮した道徳教育における情報モラルに関わる指導の充実を図る。
- ・ICTを適正に利用、活用する力であるICTリテラシーの向上を推進する。



1 単位時間での活用

ねらい

自分たちの動画をインターネット上に投稿し、削除しきれなくなった良子の姿を通して責任ある行動について考えさせ、自律的で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。

導入

【問題意識をもつ】



自分の言動に責任をもっていますか。



責任についてあまり考えていないな。

めあて「責任ある行動とはどのようなことだろう。」

展開

【教材を通して、道徳的価値について考えをもち、交流する。】



良子さんはどのような思いで動画を投稿しようとしたのかな。

動画を見た人から高評価が欲しかったから。



明美さんは勝手に投稿をした良子さんのことをどのように考えていたのでしょうか。

投稿に乗り気でなかった、自分の気持ちも考えてほしいと思っている。



動画を投稿する前に良子さんはどのようなことを考えなければならなかったのかな。

自分の思いだけで行動してはいけなかった。

明美さんの気持ちを確かめるべきだったと思う。

動画が知らない人にも見られることを考えた方がよかった。

動画を投稿すると、どのような影響があるかを考えるべき。

【めあてについてもう一度考える】



責任ある行動とは、どのようなものだろう。



自分の行動が周りにどのような影響を与えるかを考えることだと思う。

終末

【本時で扱った道徳的価値について振り返る】



今までは、自分の考えややりたいことを優先してしまっていたけれども、これからは周りの人のことや先のことも考えて行動していきたい。

教科書の教材と組み合わせた「ユニット」での活用

情報モラルに関するユニットテーマ

『ネットワーク上のマナーやルールを守り、責任をもって行動しよう』

ユニットテーマに対する初めの考え



インターネットでは、危険なサイトに気を付けた方がよいと思う。

教科書教材『あいさつって』（光村図書）

主題名「心のこもったあいさつや礼儀とは」

ねらい

「挨拶」についての出来事を通して、挨拶や礼儀はなぜ大切なのかを考えさせ、真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。



教科書教材『いこいの広場』（光村図書）

主題名「周りのことを考えて行動するとは」

ねらい

公園でキャッチボールをする中学生と、それを注意する男性との言い合いを見た主人公の姿を通して周囲のことを考えて行動しようとする判断力を育てる。



読み物教材『動画の投稿』
主題名「責任ある行動とは」

五年生の良子さんは最近ダンスに夢中です。お気に入りの動画を毎日ダンスの練習しながら毎日ダンスの練習をしています。今日は仲良しの明美さんの家で一緒にダンスの練習をすることになりました。

それがさらさらしくして良子さんの動画投稿サイトでダンスの動画を見てみると、削除したはずの自分たちの動画を見つけた。



ユニットテーマに対する振り返り



インターネットを利用する時は、安全に気を付けるだけでなく、相手の考えを尊重したり、後に起こりそうなことを考えたりして責任をもって使っていきたい。

成果

- ・児童の発達の段階に合わせた「情報モラル指導資料集」を活用することで、インターネット上のトラブル等について児童が身近な問題として捉え、自分自身のこととして考えることができた。

課題

- ・児童の実態に合わせて、指導時期や教科書の教材との組合せを工夫することで、より児童の発達に合わせた指導を行うことができる。

提言

- ・児童の発達の段階に合わせた「情報モラル指導資料集」を活用することで、道徳科における情報モラルに関する指導の充実を図りましょう。